

編集後記

- ◇ 日本いも類研究会主催（後援：（財）いも類振興会ほか）の「国際焼き芋交流フォーラム」が、“世界の焼き芋の現状と未来”をテーマに2011年11月26～27日の両日、埼玉県坂戸市の女子栄養大学坂戸キャンパスで開催された。1日目の26日は、市民公開講座（テーマ：おいもと健康、講演2題）で、参加者174名。2日目の27日は、研究交流フォーラム（講演3題）では、135名の参加者があった。

“焼きいも”は各年齢層を問わず人気があり、2006年頃から再び注目されている。このフォーラムへ、関東以西を中心に全国各地から来場いただいたことは収穫である。今後、焼きいもフォーラムへの参加者等が核となった啓発・実践活動によって、“焼きいも”の更なる消費拡大に繋がって行くことを期待したい。

- ◇ 本誌110号の特集は、「種ばれいしょミニチューバー（MnT）の現状と課題」をとり上げた。筆者が種苗管理センターに勤務していた1996～1997年当時は、種ばれいしょにおけるマイクロチューバー（MT）やミニチューバー（MnT）の実用化に向けての調査・試験は、既に圃場段階に入っており、その作出技術は相当進展していたと記憶している。そして現在、MT技術は、種ばれいしょ増殖体系の中で明確に位置づけられ、実用化されている。

今回は、MT、MnTの生産に関わっておられる（独）種苗管理センター、民間企業の専門家の方々、さらに種苗大国であるオランダの種ばれいしょ増殖体系について北海道・十勝農協連の上田裕之氏に、それぞれの現状と改善課題について解説をいただいた。わが国の種ばれいしょ増殖体系においても、技術革新が着実に進行していることがわかる。

- ◇ サツマイモ事典は、いも類振興会から2010年1月に刊行された。続いて、2010年4月からジャガイモ事典の企画編集作業を、関係者の協力を得て進めてきたが、2012年2月に発刊の運びとなった。

事典の内容は、ジャガイモの起源、伝播、作物特性、品種、栽培、利用、文化、外国事情等に関する事項・用語を科学的、客観的に解説されている。したがって、ジャガイモのことであれば何でもわかる事典となった（B5判、約425頁、定価4,800円＋税）。是非、本事典を購読いただき、ジャガイモに対する関心と理解を更に深める一助として活用いただきたい。なお、ジャガイモ事典の事前予約申込みも受け付けているので、いも類振興会へ問い合わせ下さい。（狩谷 昭男）

いも類振興情報 第110号

2012(平成24)年1月15日発行

定価 1部 500円
年間購読料（季刊） 2,000円

発行 財団法人 いも類振興会

〒107-0052 東京都港区赤坂6-10-41 ヴィップ赤坂303
TEL 03-3588-1040 FAX 03-3588-1225
E-mail: imoshin@fancy.ocn.ne.jp
郵便振替 00130-1-110152

印刷 株式会社丸井工文社